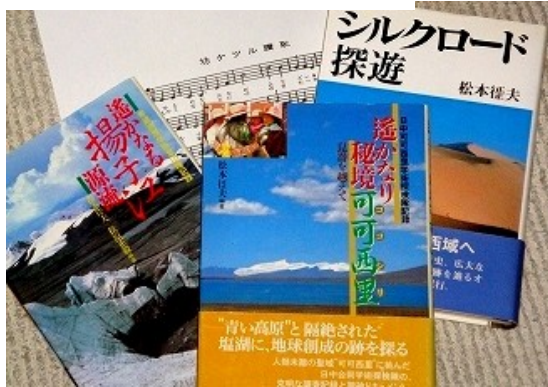


2005年

第2回通常総会
4月16日(土)

記念講演
「坊ヶつる讃歌から中央アジアへ」
松本征夫氏 (山口大学名誉教授)



松本氏は地質学者として広い足跡を残されているが、登山、探検の分野でヒマラヤ、中国奥地を踏査し、多くの著書がある。一方で「坊ヶつる讃歌」の作詞者の一人として著名で、講演には多くの人の声で付け加えられた。この日は松本氏の登山、探検の夢を育てた貴重な書籍多数も会場に展示され、近年の中国奥地、カンリガルポ山群の探検行は、若き日に祖母、大崩、屋久島山域で培った地名収集の手法と同じと語られた。

子どもの
登山支援

9月14日小学生130名の四王寺山



05/17/06

- 私達が付き添った2人を含む児童6名は疲れてくると、休み休みなでかなり遅れて、迂回路で危うく道を間違えるところであった。
- 途中で遅い組を待って、人数を確認すべきである。我々はかなり遅れて、11時過ぎに焼米ヶ原に到着した。
- この日、気温31.5℃まで上がり蒸し暑かったので、帰りには殆どの児童が水筒が空になる。

子どもの
登山支援

10月26日保育園児140名の久住山



- 会員は主催者と協力して、注意事項、天候の判断、ペース配分や行動の管理を担当しました。

コンサート
会員交流会



05/17/06

- コンサートは盛況で、参加者31名、途中で覗いた人を入れると40名ほど。
- 演奏者「酒井英和&フレンズ」は、みんなを包み込むような雰囲気がありました。ログハウスの音もいいようで、二部に分けて15曲、みんなで歌う2曲と2時間弱をたのしみました。
- 11月19日

レインボー
バスハイク

- 10人で行くバスハイクはローインパクト、独創性がモットー。
- 時雨岳では、地元の人の協力もあり豪雨災害による林道流失の条件の元で白鳥山~時雨岳をクリア。



05/17/06

4月28日(木)
5月26日(木)
8月18日(木)
9月8日(木)
10月6日(水)
11月16・17日
3月15日(水)

祈園山時雨岳
扇ヶ鼻
多良岳
作山
鞍馬ツム山
三岳松尾山
星山九重

4

30年分の新聞ス
クラップ帖の寄贈
が寄贈



- ☆北九州市のK氏から、1965年から約30年間の新聞記事スクラップ帳が寄贈された。内容は朝日新聞の登山に関するもの。
- ☆主要記事のリストを作成しています。
- ☆4月、来館されたY氏が25年前に病死された兄君の写真(マウント・クック山頂)を見出して、感慨を新たにされていた。

山の本講座



5月7日(土) 九重の山の本
6月4日(土) 九州の登山史
7月2日(土) 登山史・青春群像
8月6日(土) 山岳小説「氷壁」他
9月3日(土) 随想 串田孫一の著作他
10月1日(土) 初期のヒマラヤの記録
11月5日(土) 画文集 辻まこと他
12月4日(土) 山の写真集
1月7日(土) 山の画文集2
2月4日(土) 山の科学 1 雪
3月7日(土) 山の科学 2 地形

- ☆「九重風物志」(昭和28年刊)など紹介、坊ヶつるダム反対運動に触れたが、昨年、ラムサール条約登録があった。
- ☆『田淵行男生誕100年展』を参観のO氏から、写真集、作品の報告された。
- ☆昨年物故された、串田孫一氏に触れることが多かった。(随想、画文集など)
- ☆山の科学「雪」で紹介した「北越雪譜」は、今冬の豪雪の関心を深めることとなった。また雪崩研究家の高橋喜平氏の著作に触れたが、今年物故されたは奇縁。



宝満山 登山案内制作
(太宰府市からの受託業務)
各施設で配布し、登山者の便に供される。九州自然歩道(正面登山道)を中心に紹介。